

一条中全員で取り組むコロナウィルス感染症拡大防止対策

4月8日からの取組 が重点項目です

新年度を迎えましたが、県内のコロナウィルス感染者数は依然高止まりの状況です。子どもの学びと生き生きした顔を継続するために、本校としての対策を以下の通り進めております。

生徒・教職員が一丸となって感染症対策をとることはもちろん、大切な家族や友人を守るためにも、家庭内や外出時における感染症対策もお願いします。

① 手洗いを徹底し、教室に入るときや給食前には、必ず手指消毒を行います

集団生活の場である学校は、出入り口の取手や水道の蛇口など、複数の人が同じものを使う機会があります。よりリスクを下げるため、「手洗い、マスクの着用、3密の回避」に加え、各教室に入るときや給食前には、手洗いに加え手指消毒を必ず行うこととします。

新しい株は、エアロゾル感染が指摘されています。水道付近に人がたまって密になるのを避けるため、歯磨きは自席で落ち着いて行います。また、液体歯はみがき(洗口液)を十分注意して使用することも認めています。

② 体育の授業や部活動における取組

体育の授業や部活動は、現在、感染症対策をとりながら実施しています。基本的には激しい運動の際にはマスクを外し、会話は必ずマスクを着けて行います。感染症の状況によっては、学校として活動制限をすることがあります。練習試合や大会も同様です。また、保護者による車での送迎や応援については、その都度顧問を通じて方法をお伝えします。

③ 授業参観、学校行事、PTA活動等

本校の教室は35人学級用に設計されていて大変狭く、通常の授業参観は感染防止上不可能です。しかし、学校の様子を皆様に見ていただく機会も重要なため、今年度は分散型の授業参観を計画しています。学校行事やPTA活動についても感染症対策を徹底できるかぎり実施する予定ですが、状況に応じて人数制限をする場合にはご理解ご協力をお願いします。

④ 次のような活動は実施できません

理科の実験、音楽の合唱・管楽器演奏、共同制作、家庭科の調理実習、体育などの授業で、生徒同士が組み合う活動や長時間向かい合って行う発声を伴う活動、一つの物を複数人数で共用する活動。(感染症対策が徹底できると判断される場合は実施する内容もあります。)

⑤ 家庭や社会生活における感染症対策

「休みの日に友人とマスクを外してゲームや食事をした」「クラブチームの活動の前後、マスクを外しておしゃべりした」「県外に旅行し、人の多いところで食事をした」などにより感染が広がったと考えられる例が多く報告されています。大切な家族や友人を守るためにも、学校での感染対策を参考に家庭や社会生活上の感染症対策をお願いします。

次のような、本人や同居する家族、接触のあった人に感染症の可能性が考えられる場合は、登校を控えてください。その場合は出席停止等とします。学校にご連絡の上、医療機関や保健所にご相談ください。また、PCR・抗原検査等のご利用もご検討ください。

- 家族にPCR検査や抗原検査を受けた(受ける)人がいて、結果が出ていない場合
- 本人やご家族が「のどの痛み、せき、発熱」等のかぜ症状で具合の悪い場合